

注3

大学番号：私133

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

神奈川歯科大学大学院 歯学研究科 歯学専攻（博士課程）

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神奈川歯科大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学院教育研究部

職名・氏名 シュサ ニシワキ ユウコ
主査 西脇 優子

電話番号 046-822-8826

（夜間） 046-822-9406

F A X 046-825-1506

e-mail graduate@kdu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

歯学研究科

＜歯学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神奈川歯科大学

(2) 大学名

神奈川歯科大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

- ・横須賀キャンパス
〒238-8580
神奈川県横須賀市稲岡町82番地
- ・横浜キャンパス
〒221-0835
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-31-6
(〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カシマ イサム) 鹿島 勇 (平成21年12月)		
学長	(ヒラタ ユキオ) 平田 幸夫 (平成26年4月)	(サクライ タカシ) 櫻井 孝 (平成29年4月)	変更の理由：学長の任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日 (29)
研究科長	(ツキノキ ケイイチ) 槻木 恵一 (平成25年5月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
歯学研究科 歯学専攻(博士課程) 博士(歯学)	歯学関係	4年	18人	年次人	72人	基礎となる学部等の名称 歯学部歯学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	18人 18 () [若干名]	—人 — () [若干名]	18人 18 () [若干名]	—人 — () [若干名]	18人 18 () [若干名]	—人 — () [若干名]	—人 — () [若干名]	—人 — () [若干名]	1.03 倍	— 倍	
志願者数	18 () []	— () []	24 () []	— () []	20 () []	— () []	— () []	— () []			
受験者数	18 () []	— () []	24 () []	— () []	20 () []	— () []	— () []	— () []			
合格者数	18 () []	— () []	23 () []	— () []	20 () []	— () []	— () []	— () []			
B 入学者数	17 () []	— () []	20 () []	— () []	19 () []	— () []	— () []	— () []			
入学定員超過率 B/A	0.94		1.11		1.05						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	17 [1] (-)	— [] (-)	19 [1] (-)	— [-] (-)	19 [1] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		17 [1] (-)	— [-] (-)	19 [1] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		17 [1] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	17 [1] (-)		36 [2] (-)		55 [3] (-)		[] ()	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	17人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	37人	1人	平成29年度	0人	0人	学生個人の心身に関する事情(1)
			平成30年度	1人	0人	
令和元年度	55人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		1人		1人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の退学者数(a)}} = \frac{0}{55} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の退学者数(a)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論 I	口腔病理診断学特論	3後	4			1	1					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後	4			1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後	4			1		3	2			
	社会的決定要因特論	3後	4			1						
	歯周病のリスク管理特論	3後	4			1		1				
	感染制御医学特論	3後	4			1						
	口腔機能管理特論	3後	4			1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後	4			1						
	障害者病態解析特論	3後	4			1						
	高度咬合医科学特論	3後	4			1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後	4			1			1			
	臨床画像診断学特論	3後	4			1						
	教学IR特論	3後	4			1						
	内分泌学特論	3後	4			1						
	神経解剖学画像解析特論	3後	4			1						
	口腔感染治療学特論	3後	4			1						
	フッ化物応用科学特論	3後	4			1	1	2				
	歯科法医学特論	3後	4			1						
	歯周組織における骨免疫学特論	3後	4			1						
	ブラーク・ウ蝕制御学特論	3後	4			1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後	4			1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後	4			1						
	口腔高次脳科学特論	3後	4			1						
	片頭痛と咬合学特論	3後	4			1						
	循環病態薬物療法特論	3後	4			1						
	酸化ストレス医学特論	3後	4			1						
	接着歯科科学特論	3後	4			1						
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後	4			1						
	高度先進矯正基礎学特論	3後	4			1						
	歯周組織再生療法学特論	3後	4			1						
	眼科学における機能評価法特論	3後	4			1						
	臨床歯科技工特論	3後	4			1						
小計(32科目)	-											
選択科目 特論 II	唾液検査学特論	4通	4			1						
	先端補綴治療学特論	4通	4			1		1	7			
	臨床小児成育歯科学特論	4通	4			1		3	2			
	歯科保健政策特論	4通	4			1						
	集学的統合歯周治療学特論	4通	4			1						
	歯髄・硬組織再生医学特論	4通	4			1						
	地域医療連携特論	4通	4			1						
	周術期の糖脂質代謝特論	4通	4			1						
	障害者行動管理特論	4通	4			1						
	デジタル補綴咬合医科学特論	4通	4			1						
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通	4			1			1			
	画像工学応用科学特論	4通	4			1						
	歯学教育学学修評価特論	4通	4			1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通	4			1						
	神経解剖学微細構造観察法特論	4通	4			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論 I	口腔病理診断学特論	3後	4			1	1					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後	4			1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後	4			1		3	0			
	社会的決定要因特論(未開講)	3後	4			1						
	歯周病のリスク管理特論	3後	4			1		2	0			
	感染制御医学特論	3後	4			1						
	口腔機能管理特論	3後	4			1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後	4			1						
	障害者病態解析特論(未開講)	3後	4			1						
	高度咬合医科学特論(未開講)	3後	4			1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後	4			1				1		
	臨床画像診断学特論(未開講)	3後	4			1						
	教学IR特論(未開講)	3後	4			1						
	内分泌学特論(未開講)	3後	4			1						
	神経解剖学画像解析特論(未開講)	3後	4			1						
	口腔感染治療学特論(未開講)	3後	4			1						
	フッ化物応用科学特論(未開講)	3後	4			1	1	2				
	歯科法医学特論(未開講)	3後	4			1						
	歯周組織における骨免疫学特論(未開講)	3後	4			1						
	ブラーク・ウ蝕制御学特論(未開講)	3後	4			1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論(未開講)	3後	4			1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後	4			1						
	口腔高次脳科学特論(未開講)	3後	4			1		0				
	片頭痛と咬合学特論(未開講)	3後	4			1						
	循環病態薬物療法特論(未開講)	3後	4			1		0				
	酸化ストレス医学特論(未開講)	3後	4			1						
	接着歯科科学特論	3後	4			1		0				
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論(未開講)	3後	4			1						
	高度先進矯正基礎学特論(未開講)	3後	4			1						
	歯周組織再生療法学特論	3後	4			1						
	眼科学における機能評価法特論(未開講)	3後	4			1						
	臨床歯科技工特論(未開講)	3後	4			1		0				
小計(32科目)	-											
選択科目 特論 II	唾液検査学特論	4通	4			1						
	先端補綴治療学特論	4通	4			1		1	4			
	臨床小児成育歯科学特論	4通	4			1		3	0			
	歯科保健政策特論	4通	4			1						
	集学的統合歯周治療学特論	4通	4			1		1				
	歯髄・硬組織再生医学特論	4通	4			1						
	地域医療連携特論	4通	4			1						
	周術期の糖脂質代謝特論	4通	4			1						
	障害者行動管理特論	4通	4			1						
	デジタル補綴咬合医科学特論	4通	4			1						
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通	4			1		1	0			
	画像工学応用科学特論	4通	4			1						
	歯学教育学学修評価特論	4通	4			1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通	4			1						
	神経解剖学微細構造観察法特論	4通	4			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論Ⅱ	口腔感染症学特論	4通	4		1							
	臨床予防歯科学特論	4通	4		1	1	2					
	分子歯周組織再生学特論	4通	4		1							
	審美修復学特論	4通	4		1							
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通	4		1							
	有病者口腔管理学特論	4通	4			1						
	口腔全身統合科学特論	4通	4			1						
	唾液腺病態科学特論	4通	4			1						
	抗加齢歯科医学特論	4通	4			1						
	光線力学療法特論	4通	4			1						
	界面制御科学特論	4通	4			1						
	高度先進麻酔科学特論	4通	4			1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通	4			1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通	4			1						
	眼科学と全身疾患特論	4通	4			1						
	ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通	4			1						
小計(31科目)	-											
研究指導科目 (研究指導)		1~4	-	-	-	22	7					
合計(143科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
修了の要件は、本研究科に4年以上在学し、基本科目5科目10単位、専門科目2科目8単位(入門4単位、実習4単位:入門で選択した同じ専門科目の実習を選択する)、統合専門科目1科目4単位(入門で選択した科目の関連する1科目を選択する)、選択科目として、特論Ⅰを1科目4単位、特論Ⅱを1科目4単位、合計30単位以上を修得し、コースワーク到達試験に合格すること。さらに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要である。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 特論Ⅱ	口腔感染症学特論	4通	4		1							
	臨床予防歯科学特論	4通	4		1	1	2					
	分子歯周組織再生学特論	4通	4		1							
	審美修復学特論	4通	4		1							
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通	4		1							
	有病者口腔管理学特論	4通	4			1						
	口腔全身統合科学特論	4通	4			1	0					
	唾液腺病態科学特論	4通	4			1						
	抗加齢歯科医学特論	4通	4			1	0					
	光線力学療法特論	4通	4			1						
	界面制御科学特論	4通	4			1	0					
	高度先進麻酔科学特論	4通	4			1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通	4			1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通	4			1						
	眼科学と全身疾患特論	4通	4			1						
	ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通	4			1	0					
小計(31科目)	-											
研究指導科目 (研究指導)		1~4	-	-	-	27	16					
合計(145科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
修了の要件は、本研究科に4年以上在学し、基本科目5科目10単位、専門科目2科目8単位(入門4単位、実習4単位:入門で選択した同じ専門科目の実習を選択する)、統合専門科目1科目4単位(入門で選択した科目の関連する1科目を選択する)、選択科目として、特論Ⅰを1科目4単位、特論Ⅱを1科目4単位、合計30単位以上を修得し、コースワーク到達試験に合格すること。さらに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要である。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目 特論 I	口腔病理診断学特論	3後	4		1	0					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後	4		1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後	4		1		3	2			
	社会的決定要因特論	3後	4		1						
	歯周病のリスク管理特論	3後	4		1		1				
	感染制御医学特論	3後	4		1						
	口腔機能管理特論	3後	4		1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後	4		1						
	障害者病態解析特論	3後	4		1						
	高度咬合医学特論	3後	4		1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後	4		1			1			
	臨床画像診断学特論	3後	4		1						
	教学IR特論	3後	4		1						
	内分泌学特論	3後	4		1						
	神経解剖学画像解析特論	3後	4		1						
	口腔感染治療学特論	3後	4		1						
	フッ化物応用科学特論	3後	4		1	1	2				
	歯科法医学特論	3後	4		1						
	歯周組織における骨免疫学特論	3後	4		1						
	ブラーク・ウ蝕制御学特論	3後	4		1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後	4		1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後	4		1						
	口腔高次脳科学特論	3後	4		1						
	片頭痛と咬合学特論	3後	4		1	0	0				
	循環病態薬物療法特論	3後	4		1	0	0				
	酸化ストレス医学特論	3後	4		1						
	接着歯科科学特論	3後	4		1	0	0				
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後	4		1						
	高度先進矯正基礎学特論	3後	4		1						
	歯周組織再生療法学特論	3後	4		1						
	眼科学における機能評価法特論	3後	4		1						
	臨床歯科技工特論	3後	4		1	0	0				
小計(32科目)	-										
選択科目 特論 II	唾液検査学特論	4通	4		1						
	先端補綴治療学特論	4通	4		1	1	2	5			
	臨床小児成育歯科学特論	4通	4		1		3	2			
	歯科保健政策特論	4通	4		1						
	集学的統合歯周治療学特論	4通	4		1						
	歯髄・硬組織再生医療学特論	4通	4		1						
	地域医療連携特論	4通	4		1						
	周術期の糖脂質代謝特論	4通	4		1						
	障害者行動管理特論	4通	4		1						
	デンタル補綴咬合医学特論	4通	4		1						
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通	4		1			1			
	画像工学応用科学特論	4通	4		1						
	歯学教育学学修評価特論	4通	4		1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通	4		1						
	神経解剖学微細構造観察法特論	4通	4		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目 特論 I	口腔病理診断学特論	3後	4		1	1					
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後	4		1						
	口腔機能成育歯科学特論	3後	4		1		3	0			
	社会的決定要因特論	3後	4		1						
	歯周病のリスク管理特論	3後	4		1	1	0				
	感染制御医学特論	3後	4		1						
	口腔機能管理特論	3後	4		1						
	麻酔薬と心筋保護特論	3後	4		1						
	障害者病態解析特論	3後	4		1						
	高度咬合医学特論	3後	4		1						
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後	4		1	1		1			
	臨床画像診断学特論	3後	4		1						
	教学IR特論	3後	4		1						
	内分泌学特論	3後	4		1						
	神経解剖学画像解析特論	3後	4		1						
	口腔感染治療学特論	3後	4		1						
	フッ化物応用科学特論	3後	4		1	1	2				
	歯科法医学特論	3後	4		1						
	歯周組織における骨免疫学特論	3後	4		1						
	ブラーク・ウ蝕制御学特論	3後	4		1						
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後	4		1						
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後	4		1		1				
	口腔高次脳科学特論	3後	4		1						
	片頭痛と咬合学特論	3後	4		1	0	0				
	循環病態薬物療法特論	3後	4		1	0	0				
	酸化ストレス医学特論	3後	4		1						
	接着歯科科学特論	3後	4		1	0	0				
	高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後	4		1						
	高度先進矯正基礎学特論	3後	4		1						
	歯周組織再生療法学特論	3後	4		1						
	眼科学における機能評価法特論	3後	4		1						
	臨床歯科技工特論	3後	4		1	0	0				
小計(32科目)	-										
選択科目 特論 II	唾液検査学特論	4通	4		1						
	先端補綴治療学特論	4通	4		1	1	1	5			
	臨床小児成育歯科学特論	4通	4		1		3	0			
	歯科保健政策特論	4通	4		1						
	集学的統合歯周治療学特論	4通	4		1	1					
	歯髄・硬組織再生医療学特論	4通	4		1						
	地域医療連携特論	4通	4		1						
	周術期の糖脂質代謝特論	4通	4		1						
	障害者行動管理特論	4通	4		1						
	デンタル補綴咬合医学特論	4通	4		1						
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通	4		1	1		1			
	画像工学応用科学特論	4通	4		1						
	歯学教育学学修評価特論	4通	4		1						
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通	4		1						
	神経解剖学微細構造観察法特論	4通	4		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目	口腔感染症学特論	4通	4			1						
	臨床予防歯科学特論	4通	4			1	1	2				
	分子歯周組織再生学特論	4通	4			1						
	審美修復学特論	4通	4			1						
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通	4			1						
	有病者口腔管理学特論	4通	4				1					
	口腔全身統合科学特論	4通	4				1					
	唾液腺病態科学特論	4通	4			1	0					
	抗加齢歯科学特論	4通	4			1	0					
	光線力学療法特論	4通	4			1						
	界面制御科学特論	4通	4			1	0					
	高度先進麻酔科学特論	4通	4			1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通	4			1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通	4			1						
	眼科学と全身疾患特論	4通	4			1						
	ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通	4			1	0					
小計(31科目)	-											
研究指導科目	(研究指導)	1~4	-	-	-	27	9					
合計(143科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
修了の要件は、本研究科に4年以上在学し、基本科目5科目10単位、専門科目2科目8単位(入門4単位、実習4単位:入門で選択した同じ専門科目の実習を選択する)、統合専門科目1科目4単位(入門で選択した科目の関連する1科目を選択する)、選択科目として、特論Iを1科目4単位、特論IIを1科目4単位、合計30単位以上を修得し、コースワーク到達試験に合格すること。さらに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要である。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目	口腔感染症学特論	4通	4			1						
	臨床予防歯科学特論	4通	4			1	1	2				
	分子歯周組織再生学特論	4通	4			1						
	審美修復学特論	4通	4			1						
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通	4			1						
	有病者口腔管理学特論	4通	4				1					
	口腔全身統合科学特論	4通	4				1					
	唾液腺病態科学特論	4通	4			1	0					
	抗加齢歯科学特論	4通	4			1	0					
	光線力学療法特論	4通	4			1						
	界面制御科学特論	4通	4			1	0					
	高度先進麻酔科学特論	4通	4			1						
	高度先進矯正臨床応用学特論	4通	4			1						
	インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通	4			1						
	眼科学と全身疾患特論	4通	4			1						
	ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通	4			1	0					
小計(31科目)	-											
研究指導科目	(研究指導)	1~4	-	-	-	27	16					
合計(145科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
修了の要件は、本研究科に4年以上在学し、基本科目5科目10単位、専門科目2科目8単位(入門4単位、実習4単位:入門で選択した同じ専門科目の実習を選択する)、統合専門科目1科目4単位(入門で選択した科目の関連する1科目を選択する)、選択科目として、特論Iを1科目4単位、特論IIを1科目4単位、合計30単位以上を修得し、コースワーク到達試験に合格すること。さらに、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要である。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

省略

【平成30年度】

省略

【令和元年度】

省略

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を管条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	138 科目	科目	143 科目	5 科目 []	140 科目 2]	科目 []	145 科目 [2]	教授昇格のため担当科目を追加 (30)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{143} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (所用時間：40分)		
	校舎敷地	14,193.6 m ²	4,560.04 m ²	2,999.49 m ²	21,753.13 m ²			
	運動場用地	0 m ²	47,106.68 m ²	0 m ²	47,106.68 m ²			
	小 計	14,193.6 m ²	51,666.72 m ²	2,999.49 m ²	68,859.81 m ²			
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²			
合 計	14,193.6 m ²	51,666.72 m ²	2,999.49 m ²	68,859.81 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神奈川歯科大学短期大学部と共用			
	26,317.51 m ² (26,317.51 m ²)	8,862.27 m ² (8,862.27 m ²)	10,037.77 m ² (10,037.77 m ²)	45,217.55 m ² (45,217.55 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	8 室	6 室	6 室	1 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成29年4月 専任教授2名新規採用と 准教授2名を新規採用のため (29) 平成30年4月 専任教授1名新規採用と講 師1名を新規採用のため (30)		
	歯学研究科 歯学専攻		74 72 68	室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能 なため、大学全体の数 (短期大学部は除く) 図書・学術雑誌・視 聴覚資料：修学環境向上 のための資料購入による 増加 (29) 図書・視聴覚資料：修学 環境向上のための資料購 入による増加 (30) 学術雑誌(電子ジャー ナル)：CiNii機関定額制 の終了と7ヶリゲ-系種の 変更による減少 (30) 図書・視聴覚資料：修学 環境向上のための資料購 入による増加 (元) 学術雑誌(電子ジャー ナル)：MedicalFinderの導 入による国内EJの増加と7 ヶリゲ-系の種数変更によ る国外EJの減少 (元)
	歯学研究科 歯学専攻	161,000 [67,200] (161,819 [67,599]) -(161,258 [67,522]) -(160,770 [67,155]) -(159,811 [67,124])	2,179 [1,230] (2,179 [1,230])	5,350 [3,647] (4,894 [3,510]) -(4,824 [3,572]) -(5,444 [3,673]) -(5,350 [3,647])	5,400 (5,405) -(5,404) -(5,391) -(5,352)	37 (37)	0 (0)	
	計	161,000 [67,200] (161,819 [67,599]) -(161,258 [67,522]) -(160,770 [67,155]) -(159,811 [67,124])	2,179 [1,230] (2,179 [1,230])	5,350 [3,647] (4,894 [3,510]) -(4,824 [3,572]) -(5,444 [3,673]) -(5,350 [3,647])	5,400 (5,405) -(5,404) -(5,391) -(5,352)	37 (37)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,792m ²	215		168,389				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	7,418.08 m ²							

(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費については研究科単位での特定不能なため、大学全体の数。 図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。 図書購入費 開設前年度：データベースが含まれていなかったため修正（29） 開設・完成年度：データベースを含めたことと雑誌の購読見直しによる増加（29）
		教員 1 人当り 研究費等	90 千円	90 千円	図書購入費	63,119千円 56,003千円	61,142千円 56,003千円	61,142千円 56,003千円	
		共 同 研 究 費 等	45,000千円 30,000千円	45,000千円 30,000千円	設備購入費	20,000千円	10,000千円 5,000千円	10,000千円 5,000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,100千円	700千円	700千円	700千円	— 千円	— 千円	平成29年度予算で研究費15,000千円が新たに承認され、従来の額と合計45,000千円となった。研究用の備品購入費は10,000千円で承認された。ブランディング研究推進のため完成年度まで同額の予算申請を行う予定である。（29）	
	学生納付金以外の維持方法の概要	医療収入、経常費補助金、寄付金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	神 奈 川 歯 科 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
歯学研究科	4	18	-	72	-	1.03	-	昭和50年度	-	
歯学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学)	1.03	-	平成29年度	神奈川県横浜須賀市福岡町82番地	
歯科基礎系専攻	4	-	-	-	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	-	-	昭和50年度	同上	平成29年より学生募集停止
歯科臨床系専攻	4	-	-	-	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	-	-	昭和50年度	同上	平成29年より学生募集停止
大学院全体	4	18	-	72	-	1.03	-	-	-	
歯学部	6	120	-	720	-	0.92	-	昭和39年度	-	
歯学科	6	120	-	720	学士 (歯学)	0.92	-	昭和39年度	神奈川県横浜須賀市福岡町82番地	
大学全体	6	120	-	720	-	0.92	-	-	-	
大学の名称	神 奈 川 歯 科 大 学 短 期 大 学 部									備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
歯科衛生学科	3	120	-	360	短期大学士 (歯科衛生学)	0.77	-	昭和27年度	神奈川県横浜須賀市福岡町82番地	
看護学科	3	80	-	240	短期大学士 (看護学)	0.97	-	平成19年度	同上	
大学全体	3	200	-	600	-	0.87	-	-	-	
大学の名称	東 京 歯 科 衛 生 専 門 学 校									備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
歯科衛生士科	3	80	-	240	専門士	0.92	-	昭和58年度	東京都北区滝野川11-75-16	
大学全体	3	80	-	240	-	0.92	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (28年)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	「該当なし」		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<歯学研究科 歯学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成30年度においては、常設していた大学院FD委員会を大学院運営委員会に編入し、FD活動の実施について検討ならびに運営を行っている。</p> <p>・添付資料のとおり(神奈川歯科大学大学院運営委員会規程、平成30年度大学院学内委員名簿)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>大学院運営委員会として、以下に記すとおりFD活動に関する審議を行った。</p> <p>1. 第1回大学院運営委員会</p> <p>日時: 4月10日(火) 14:30~16:30</p> <p>議題: 神奈川歯科大学大学院運営委員会規程改訂(案)について</p> <p>出席者: 木本克彦、木本茂成、有坂博史、櫻井 孝、二瓶智太郎、長谷川巖、松尾雅斗、三辺正人、向井義晴、森本佳成、山本龍生(11名)</p> <p>2. 第2回大学院運営委員会</p> <p>日時: 5月29日(火) 14:30~16:30</p> <p>議題: 大学院新任教員、新任職員研修会(平成30年6月21日)実施について</p> <p>出席者: 木本克彦、木本茂成、有坂博史、櫻井 孝、高橋俊介、槻木恵一、二瓶智太郎、長谷川巖、松尾雅斗、三辺正人、向井義晴、森本佳成、山本龍生(13名)</p> <p>3. 第3回大学院運営委員会</p> <p>日時: 6月26日(火) 14:30~16:00</p> <p>議題: 1) 研究評価者説明会・意見交換会について 2) 大学院生全体meeting、FD講演会開催について</p> <p>出席者: 木本克彦、有坂博史、櫻井 孝、高橋俊介、長谷川巖、松尾雅斗、向井義晴、森本佳成、山本龍生(9名)</p> <p>4. 第5回大学院運営委員会</p> <p>議題: 平成30年度共通カリキュラムアンケートについて</p> <p>出席者: 木本克彦、木本茂成、櫻井 孝、高橋俊介、槻木恵一、二瓶智太郎、長谷川巖、不島健持、松尾雅斗、三辺正人、向井義晴、森本佳成、山本龍生(13名)</p> <p>5. 第10回大学院運営委員会</p> <p>議題: 1) 神奈川歯科大学大学院基幹研究プロジェクト報告会について 2) 神奈川歯科大学大学院「スカ健プロジェクト」シンポジウムについて</p> <p>出席者: 木本克彦、木本茂成、有坂博史、櫻井 孝、高橋俊介、二瓶智太郎、長谷川巖、不島健持、三辺正人、向井義晴、森本佳成、山本龍生(12名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・神奈川歯科大学大学院運営委員会規程改訂(案)について・大学院新任教員、新任職員研修会実施について・研究評価者説明会・意見交換会について・大学院生全体meeting、FD講演会開催について・共通カリキュラムアンケート実施について・神奈川歯科大学大学院基幹研究プロジェクト報告会について・神奈川歯科大学大学院「スカ健プロジェクト」シンポジウムについて

② 実施状況

a 実施内容

1. 大学院生全体meeting
2. 研究倫理に関するFD講演会
3. 大学院生を対象とした共通カリキュラムアンケート
4. 神奈川歯科大学大学院基幹研究プロジェクト報告会
5. 神奈川歯科大学大学院「スカ健プロジェクト」シンポジウム

b 実施方法

教職員を対象としたFDについては、講演会ならびにシンポジウム形式により、本学の基幹研究に関する共通理念や研究倫理、個人情報保護に関する啓発を行っている。
大学院の授業改善については、受講した大学院生を対象として、共通カリキュラムの全授業終了後にアンケートを実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 大学院生全体meeting

日時：平成30年10月26日（火） 17：30～18：00

場所：第1小講堂

参加者：79名（教員34名、大学院生45名）

2. 研究倫理に関するFD講演会

日時：平成30年10月26日（火） 18：00～19：30

テーマ：「研究倫理について-人を対象とする医学系研究に関する倫理指針・臨床研究法等の最新情報-」

講師：栗原千絵子氏

場所：第1小講堂

参加者：146名（教職員101名、大学院生45名）

3. 神奈川歯科大学大学院基幹研究プロジェクト報告会・神奈川歯科大学大学院「スカ健プロジェクト」シンポジウム

日時：平成31年3月21日（木） 10：00～17：00

場所：2号館 11番教室

参加者：103名（教員58名、職員 5名、大学院生 9名、その他学外受講者31名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学院生を対象として共通カリキュラムの全授業終了後にアンケートを実施し、その内容および集計結果については、担当教員で共有し、次年度の授業改善の参考としている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・平成30年7月26日 講義終了後に実施
- ・平成31年1月17日 講義終了後に実施
- ・平成31年1月31日 講義終了後に実施
- ・平成31年1月10日 講義終了後に実施
- ・平成30年7月13日～7月1日 メールにて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員：アンケート集計、分析結果をメール及び教授会等報告
- ・学生：講義時に配布

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制 「該当なし」
- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
 - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
 - c 委員会の審議事項等
 - d その他
- ② 審議状況 「該当なし」
- a 審議した内容
記入例)
 - ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
 - ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
 - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
 - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 歯科医療を取り巻く現状が複雑化し、新たな課題への取り組みが必要となっており、自立した臨床研究能力を備える人材が強く求められている。歯学専攻では、基礎と臨床の壁を超えた横断融合型の教育を展開するために、歯科基礎系専攻と歯科臨床系専攻を改組し、新たに1専攻による大学院歯学研究科を設置した。本専攻では、臨床的な課題を解決する地域歯科医療における指導的な人材とトランスレーショナルリサーチの実践できる研究者の育成を行うことを目的としている。本年度は、開設3年目であり、目的の達成に向けて完成年度ではないが、1年次および2年次の大学院教育が設置目的に示された計画通りに進んでいるか、大学院運営委員会および大学院教授会で事業評価したところ概ね達成しているとの結論に至った。また、平成31年度は、3年次の科目も開講されることからコースワークの充実にに向けた取り組みを行い、DPの達成を目指している。今後ともPDCAサイクルにより問題点を整理し、評価による改善を進めていきたい。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
 - ・平成31年度内 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年度内を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成29年度に大学基準協会の評価を受け、適合の評価を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

○神奈川歯科大学大学院運営委員会規程

昭和 53 年 4 月 18 日

制定

(総則及び目的)

第 1 条 大学院運営委員会は、神奈川歯科大学大学院歯学研究科学則第 50 条の規定に基づく大学院研究科教授会の円滑な運営を図ることを目的とする。

2 この委員会の組織、任務及び運営等は、この規程の定めるところによる。

(組織及び選出)

第 2 条 大学院運営委員会は、次の委員をもって組織する。

(1) 歯学研究科長

(2) 副研究科長

(3) 講座長

(4) 大学院教授若干名

2 委員は、学長の指名とする。

3 委員長および副委員長は、学長の指名とする。

(任期)

第 3 条 委員の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員を生じた場合、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(職務)

第 4 条 大学院運営委員会は、大学院教授会に関わる事項を立案並びに審議実行する。

(1) 大学院教授会等の運営に関する事項

(2) 大学院学務に関する事項

(3) 大学院入試に関する事項

(4) 大学院 FD に関する事項

(5) 奨学金に関する事項

(6) 賞の授与に関する事項

(7) 大学院に関する重要な規程の制定、改廃に関する事項

(8) その他大学院の運営に関する重要事項

(招集)

第 5 条 大学院運営委員会は、定例でこれを行い、その他必要に応じ運営委員長がこれを招集する。

(部会)

第 6 条 大学院運営委員会の施策の実行のために部会を置くことができる。

(委員会の庶務)

第 7 条 委員会の事務は、大学院教育研究部が取り扱う。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、大学院運営委員会の議事及び運営に関し必要な事項は、大学院運営委員会がこれを定める。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学院教授会の議を経なければならない。

附 則

この規程は、昭和53年4月18日から施行する。

この規程は、平成元年4月1日から一部変更施行する。

この規程は、平成12年4月1日から一部変更施行する。

この規程は、平成24年4月1日から一部改訂し施行する。

この規程は、平成27年4月1日から一部改訂し施行する。

この規程は、平成30年4月1日から一部改訂し施行する。

平成30年度 大学院学内委員

2018.4.13

管理部門													
大学院教授会	研究科長: 槻木恵一												
	青木一孝	有坂博史	石井信之	市邊義章	井野 智	木本克彦	木本茂成	古出智子	児玉利朗	合田征司	小林 優	櫻井 孝	佐藤温洋
	高橋 理	高橋俊介	玉置勝司	二瓶智太郎	長谷川巖	浜田信城	不島健持	松尾雅斗	三辺正人	向井義晴	森本佳成	山田良広	山本龍生
	岩淵博史	猿田樹理	山本利春	吉野文彦									(書記 村上 健)
学位審査運営委員会	委員長: 櫻井 孝 委員長代行: 木本茂成												
	有坂博史	木本克彦	高橋俊介	槻木恵一	不島健持	三辺正人	山本龍生						(書記 門馬早奈枝)
大学院運営委員会 (併: 大講座長会議)	委員長: 木本克彦(運営、奨学金担当) 副委員長: 木本茂成(FD担当) 三辺正人(入試担当)、高橋俊介(教育担当)、不島健持(横浜キャンパス担当)												
	有坂博史	櫻井 孝	槻木恵一	二瓶智太郎	長谷川巖	松尾雅斗	向井義晴	森本佳成	山本龍生				(書記 西脇優子)
海外派遣者選考委員会	委員長: 槻木恵一												
	井野 智	木本克彦	木本茂成	小林 優	二瓶智太郎	不島健持	山本龍生						(書記 藤原 剛)
教育部門													
大学院教育委員会	委員長: 高橋俊介 副委員長: 不島健持(臨床教育担当) 木本克彦(国際教育担当)												
	有坂博史	木本茂成	合田征司	櫻井 孝	槻木恵一	二瓶智太郎	長谷川巖	松尾雅斗	三辺正人	向井義晴	森本佳成	山本龍生	吉野文彦
大学院学生生活支援委員会	委員長: 高橋聡子												
	本 校: 今泉うの 佐藤温洋 山田良広 横浜キャンパス: 市邊義章 鎌田要平 濱野奈穂												
研究部門													
競争的資金獲得推進委員会	委員長: 吉野文彦												
	石井信之	高橋俊介	槻木恵一	森本佳成	山本龍生	小牧基弘(横浜キャンパス)						(書記 小野田俊和)	
実験動物・組み換えDNA管理委員会	委員長: 櫻井 孝 委員長代行: 浜田信城												
	石井信之	合田征司	菅原光則	林田丞太	松尾雅斗	山本利春	吉野文彦	(安全主任: 熊田秀文)			(書記 櫻井一義)		
ブランディング研究部門													
研究推進実施管理委員会	委員長: 槻木恵一												
	木本克彦	小森雄一郎	櫻井 孝	三辺正人	村上 健	森本佳成						(書記 小野田俊和)	
研究評価・社会還元委員会	委員長: 山本龍生												
	石井信之	井野 智	木本茂成	高橋俊介	二瓶智太郎							(書記 小野田俊和)	
	(学外委員: 未定)												
研究推進・共同実験施設委員会	委員長: 槻木恵一 委員長代行: 東雅啓												
	居作和人	大橋 桂	小澤重幸	河田 亮	香西雄介	小牧基弘	小森雄一郎	齋田牧子	佐藤武則	清水智子	武藤徳子	村上 健	